

JASH

Japan Alumnae Association of the Sacred Heart

だより

2024
No.34

Courage and confidence!

AMASC 2022-2026



日本聖心同窓会

いまもそれぞれの心の中に「私のマリア様」

宮代会

大学構内にはマリア様の絵やマリア像がたくさんありますが、今回ご紹介するのは大学聖堂正面左側のマリア像です。足元のへびは罪のシンボルで、そのへびを踏みつけていることで、聖母マリアが罪の汚れから守られている、つまり無

原罪であることを象徴

しています。大学の中心にあるこの聖堂は、在學生はもちろんのこと、卒業生にとっても心の拠り所となっております。マリア像はいつも静かに私たちを見守ってください。

会長 野本 敦子
(小み48・宮30)



大学聖堂内のマリア像



マリアンホール



大学1号館から見える中庭

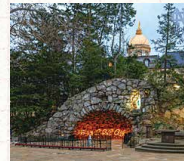
語学校・ISSH アラムネ

私は子供の頃からマリア様にお祈りしてきました。私にとって校内の素晴らしいMater Admirabilisが一番印象的なマリア様として思い浮かびます。少女から一人の女性へと成長し、母となりそして老いてゆく姿が、画家Sr.Perdraunoの作品に描かれています。若きマリア様は深く考え込みながら祈り、神の教えを受け入れていました。最後のMaterは目が上むきで神に向かうような表情に見えます。私のマリア様は私に祈ることを教えてください、今もなお私の人生の支えです。ISSH卒業後もノートルダム大学の有名なマリア様のGrottoでお祈りを続けていました。

会長 Mayling Woo Clements (I'81)



Mater Admirabilis



University of Notre Dame Grotto

三光会

聖心女子専門学校の校舎の扉を開けると、マリア様が迎えて下さいます。保育科生にとってはピアノの試験や、保育実習を見守ってください。とても心強いマリア様です。

「聖心は一つの家族です」と学生時代にシスター方から教えられた言葉を思い出し、マリア様が「おかえりなさい」とあたたかく迎えて下さっているような気持ちになります。マリア様のお心のよう



講堂前で見守って下さいます

に広げて強い心で、周りの方々を包みたいと思ひ出させてくれます。

会長 岡 聖子
(下36・三保24)



皆が気付かなくてもいつもひっそりと側にいて下さるマリア様です

JASH NEWS 1

「JASHのつどい」を開催します



「JASHの日」に掲載の姉妹校同窓会の活動報告動画は、年末まで閲覧できます。「JASHのつどい」の詳細と合わせて、JASH Webサイトをご確認ください。JASHインスタグラムからも発信しています

今年からWebサイトで開催となりました三月の「JASHの日」には、たくさんのご協力、ご視聴、ありがとうございます。新たなホームカミングデーとして、六月八日(土)に聖心女子大学構内で第一回「JASHのつどい」を開催します。第一部は御聖堂で、懐かしい校歌や聖歌を一緒に。第二部は学食Bで、各同窓会のバザー、茶話会、資料委員会展示をお楽しみいただけます。お誘い合わせてご来場ください。

JASH NEWS 2

聖心女子専門学校の三光会が休会

二〇一八年の閉校以来、将来検討委員会にて三光会存続のために話し合いをしております。コロナ感染拡大により三光会の活動も縮小となり、二〇二四年三月末を以って、休会となりました。今後につきましては、JASH Webサイトにてご報告させていただきます。

(三光会会長 岡聖子)

茂仁香会

札幌聖心で一番歴史のあるマリア像は、長崎でつくられ、一九二六年の上海の聖心女子学院創立の際に上海の修道院に送られました。一九五二年に聖心会が上海から退去させられた時に日本に戻り、一九六三年の本校創立の折、札幌に送られました。

砂利道をマイクロバスに揺られ着き坂を登りてシスターの待つ玄關を通りて廊下つきあたり朝日のうちにマリア像在り六十年変わることなく佇みて生徒見守り今この時もマートルの絵が届きし日アセンブリホール歓喜の光溢るる正装の白手袋に白リボン白ユリ捧ぐユリの行列

一九六三年最初の種がまかれてから六十年、日月の重みと紡がれた想いに心より感謝をこめて祈りの内に。

会長 大八木 かほる(茂1・宮23)

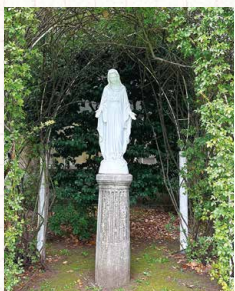


学内で最も歴史のあるマリア像

みこころ会

三光町のマリア像を代表するのは、ルルドのマリア像です。この像はフランスのルルドの洞窟に出現された聖母を再現したもので、早逝された16回生のご遺族によって1933年に寄贈されました。マリア様の祝日には花の冠を差し上げ、長年に亘り生徒達を見守っていただけてきました。近年は聖母戴冠式には小ぶりで移動できるマリア像が使われています。この像は普段は高等科校舎内に在り、ルルドのマリア像同様、前を行き交う生徒達を見守ってくださっています。

会長 村上 直子(み59・宮28)



つるばらのマリア像も



ルルドのマリア像

ドウシェーン会

私が最初にマリア様に触れたのは幼稚園生の時でした。三月生まれで年少から通っていた私は物心ついた時には主の祈りとアヴェマリア様の祈りは意味を理解しないまま口ずさんでいました。不二聖心のマリア様で私が心惹かれるのは、山の家近くの幼子を抱いたマリア様像です。この像を見ると何とも表現しようのない懐かしさと、再び出会えたような喜びと安心感を覚えます。それは多分記憶の奥にある、当時の幼稚園にあったマリア像と重なるのだと思います。

会長 三橋 香(ド29・宮37)



山の家近くのマリア像



事務所前のマリア像

小林みこころ会



「感ずべき御母」遠景



墓地にあるピエタ像

校内には、聖堂内の他にマリア像が三体ある。

- ・本館(聖堂のある建物)正面入口扉を開けると正面に見える「感ずべき御母」の絵
- ・学校の裏手のライラック通りにあるルルドのマリア像
- ・聖堂裏墓地にあるピエタ像

いずれのマリア像も首を傾げ、伏し目がちの優しい顔立ちをしている。

私にとっては、本館の「感ずべき御母」の絵は特別である。普段は閉じている扉が開けられていた際に、奥で優しく温かい光が当たっているマリア様を、聖堂前広場から遠目に見るのが好きだった。より見守られているように思えてくるからだ。

会長 辰巳 淳子(小み55)

JASH NEWS 3

JASHグッズに新しい仲間が誕生

JASHの存在を、その活動を一人でも多くの同窓生に知ってもらいたいと話し合う中で、ふと一本のボトルに目が留まり、そこから私達のアイデアが溢れ出しました。

- 常温の飲み物に適切
- 空の時に軽い
- カバンに入れやすい大きさ
- 飲み口が広くて洗いやすい
- JASHのロゴが入る
- JASHのフルネームも入る
- Webサイトに繋がるQRコードも

● 色は、学年カラーや学校のイメージカラーから選んだ全8色を！

小さなボトルに沢山の想いが詰め込まれています。価格もワンコインでお求めいただけるよう頑張りました。

貴方ならどの色がお好みですか？是非一本お手元に。



各500円。350ml。JASH Webサイトのオンラインショップから購入できます

Message



JASH 会長挨拶

日本聖心同窓会会長

ラウリア 佳子

(み64・宮33)

今年度は「コロナを越えて」を標榜に活発な同窓会の活動が戻って来た年度となりました。四年ぶりの様々な行事は、以前と同様ではなく新たな形のもので行われていたように思います。この姿勢こそ「Courage and Confidence」の精神そのものではないでしょうか。勇気を持って一歩前に進むこと、仲間を信頼して共に活動していくこと、今までも今もこれからも同窓会活動の核心です。

また十一月には大学が創立七十五周年、小林が創立一〇〇周年を迎えました。長きに渡り多くの同窓生にとって自分の芯になるものを作ってくれた場所です。ミサと式典に参加をしながら、教育に関わってこられたシスターや先生方のご尽力に感謝すると共に私たち同窓生が母校のこれから出来ることはなんだろうか？と考えました。

答えは出ません。皆それぞれのやり方で母校を応援して行くのでしょう。では私は？といえ、みこころの愛とは何か？今の時代にどのように活かされて行くのか？JASHの活動の中にかに取入れられていくことができるのか？それらを考えつつ、今は母校が無い同窓会も含め国内八つの同窓会の繋がりを大事にしなが、次の一歩を踏み出していこうと思っております。



JASH 名誉会長挨拶

聖心会日本管区管区長
シスター

宇野 三恵子

(み54・宮23)

二〇二三年、聖心女子大学は創立七十五周年、小林聖心女子学院は創立百周年を祝いました。式典等記念行事がそれぞれ盛大に執り行われ、学院全体にとって恵み豊かな年となりました。過去と未来を結ぶ大切な節目を祝うことで、過去の道のりに思いを馳せるとともに、希望のうちに新たな一歩を踏み出すことができます。

国連第二代総長ダグ・ハマーショルドの言葉が私の心に響いています。「For all that has been—Thanks! To all that shall be—Yes! 過去のすべてに『感謝!』これから起こるすべてに『はい!』」多くの方々に支えられて歩んだ過去があるからこそ、今日があるということに感謝の気持ちが溢れてきます。困難に直面した時は、その都度そこから何かを学び、新しい命へと導かれてきました。過去の経験を通して、この先何が起ころうとも神が共に歩んでくださることを確信し、未来を引き受ける覚悟を持つことができるようになります。

今日のような難しい時代にあつて、ハマーショルドの言葉を胸に、聖心の卒業生として「Artisans of Hope 平和を作り出す人」として生きていきますようにと願つてやみません。

2023年度 理事会メンバー

- JASH名誉会長 Sr. 宇野 三恵子 管区長 (み54・宮23)
- 聖心会代表 Sr. 田中 玲子 (み44・宮13)
- JASH会長 ラウリア 佳子 (み64・宮33)
- JASH副会長 山田 あけみ(*) (み60・宮29)
- JASH副会長 上野 愛子 (み58・宮27)
- JASH書記 伊部 規子(*) (み76・宮45)
- JASH書記 佐野 由佳 (ド28・宮36)
- JASH会計 太田 里架 (小み56・宮38)
- JASH会計 岡森 あかね (小み56・宮38)
- JASH監事 和田 美紀(*) (ド34・宮42)
- JASH監事 上田 佳代子 (小み52・宮34)
- 茂仁香会会長 大八木 かほる (茂1・宮23)
- みこころ会会長 村上 直子 (み59・宮28)
- 三光会会長 岡 聖子 (ド36・三保24)
- 語学校・ISSHアラムネ会長 Mayling Woo Clements (T81)
- 宮代会会長 野本 敦子 (小み48・宮30)
- ドゥシェーン会会長 三橋 香 (ド29・宮37)
- 小林みこころ会会長 辰巳 淳子 (小み55)
- 茂仁香会東京支部長 竹田 千加子 (茂23・宮45)
- 小林みこころ会東京支部長 新美 英理子 (小み60・宮42)
- ホスピタリティ委員会委員長 小泉 マヤ (み62・宮31)
- 資料委員会委員長 吉川 富久子 (小み51・宮33)
- JASH-AMASC委員会委員長 王 玲華 (み84・宮54)

(*) = 任期満了による退任JASH役員



2023年度理事会メンバー

2024年度 JASH役員

- JASH会長 ラウリア 佳子 (み64・宮33)
- JASH副会長 上野 愛子 (み58・宮27)
- JASH副会長 謝敷 仁美(*) (み62・宮31)
- JASH書記 佐野 由佳 (ド28・宮36)
- JASH書記 高島 曜子(*) (ド27・宮35)
- JASH会計 太田 里架 (小み56・宮38)
- JASH会計 岡森 あかね (小み56・宮38)
- JASH監事 上田 佳代子 (小み52・宮34)
- JASH監事 佐々木 裕美子(*) (茂18・宮40)

(*) = 新役員

姉妹校はじまり物語

聖心女子専門学校

闇から光へと抜け出る通路のような場所でした

文部省に提出された学校沿革の記載によると、聖心女子専門学校は、「一九四八年聖心女子学院高等科に一般教育と英語を二ヶ年で専攻する課程として英語専攻科を附設」したことから始まっています。しかし実際には、一九四八年三月には一回生が卒業しており、英語専攻科が発足した経緯は、戦前にまで遡ることができます。

一九〇九年に認可された「私立聖心女子学院小学校、同付属幼稚園、同外国人部」と、これらの学校に加えて一九一六年に設置された「私立聖心女子学院高等専門学校」が母体となって、戦中の混乱期と戦後の学制改革を経て、聖心女子学院（三光町）、聖心女子大学、インターナショナルスクール、聖心女子専門学校へと発展していきます。

なかでも、聖心女子専門学校の誕生には、一九四三年に聖心女子学院外国人部の学則が変更されたことが大きく関わっています。戦時中につき、文部省の学校統制が厳しくなり、名称も聖心女子学院芙蓉寮となります。二〇一六年発行の『ありがとう英語科』に掲載されている一回生の回想には、「戦時中、芙蓉寮には家政科が出来たが、昭和一八年入学の一回生と一九年入学の二回生は、卒業を待たず空襲激化のため解散、戦後の昭和二〇年に英語科が出来、九月英語科一回



卒業式(2回生/1949年)



英語専攻科用として新築された校舎(1949年)

生入学、当時は三年制であった」との記述があります。一九四五年八月終戦の翌月には英語科（語学部）が立ち上がっているところに、戦時中も英語を学ぶ種火を守り続けたこと、そして戦争が終わったことへの強い希望と喜びがうかがえます。

戦災で焼失した旧高等専門学校校舎跡に、英語専攻科専用の木造モルタルの校舎が完成したのは一九四九年。それまでは「焼け残った校舎を互いに譲り合い、日替わり教室」で過ごし（二回生）、冬は足が冷えないようにと、マザー・ブリッドが「小さな木切れを一人ひとりに下さり、それを床の上においてその上に足を乗せ受講した」（一回生）など、戦後草創期の困難は計り知れません。しかし同時に「専門学校英語科の二年間は、自分にとって闇から光へと抜け出る通路のよう」だと感じていた卒業生が大半だったと、設立間もないころに教鞭を取り、のちに校長もつとめられたシスター廣戸直江が綴っておられます。

求めたことが与えられるためには、時間が必要で、忍耐しなければならぬこともあります。すぐに結果が出なくても諦めないことの大切さを、わたしたちは学ぶことを通して教えていただきました。それはいまも、卒業生ひとりひとりの心の支えになっています。

参考資料：『ありがとう英語科―記念誌―』（二〇一六年発行）



タイピングの授業(1960年)



8回生による運動会

三光会会長 岡聖子(下36・三保24)

最初に蒔かれた小さな種には、大きな希望が託されていました。
 姉妹校それぞれの、知ってるようで知らない創立の頃の物語を紹介します。

初代院長マザー・マイヤーの精神は百年の歳月を超えて

小林聖心は、阪急今津線小林駅からやや傾斜の強い、長い「みこころ坂」を登った先にある。沿道には覆いかぶさるような木々と、敷地を囲む高い壁面。正門をくぐってもまだ校舎は見えず、最後に右に曲がった坂を登りきると、正面にアントニン・レーモンド設計による中学校校舎、右手に小学校校舎、そして左手には、やや奥まって高木に囲まれた塔のそびえたつ聖堂(本館)が、息をきららせて坂を登ったごほうびみたいに、突然、現れる。在校中は季節によって姿を変える木々の新緑や紅葉、満開の桜などを楽しむ余裕はなかったが、いまと違っては忘れがたい風景である。母校をおとずれる卒業生はきまって「こんな坂をよく毎日登っていたね」と懐かしく語り合う。

兵庫県宝塚市の高台にあるこの敷地に、学院が移転してきたのは一九二五年のことだ。

はじまりとなる学び舎は一九二三年四月、稲畑喜久子夫人(実業家で敬虔なカトリック信者だった稲畑勝太郎氏の長女)提供の別荘に開設した聖心会仮修道院だった。数人の生徒を集めてプライベートレッスンを開始。五月には兵庫県武庫郡住吉村(現在の神戸市灘区)にドイツ人の別荘を借り受けて、稲畑勝太郎、平生三郎の両氏を保証人に、住吉聖心女子学院を設立する。これが、小林聖心の前身である通称「住吉の聖心」である。初代院長は「マザー・マイヤー」。マザーが残された「Big You and small i (I)」「自己を押え、相手を思う」教えは、時代を超えて小林の生徒に引き継がれている。

住吉の聖心創立からほどない同年九月、関東大震災により三光町聖心の建物が壊

滅的な被害を受ける。幸い休暇中で生徒は無事だったが、九州・朝鮮・関西方面の寄宿生はこの住吉に預けられ、生徒数がにわか増加。別荘の建物だけでは収容できず、敷地内にバラックの仮校舎を建設した。

ちなみに一九九五年の阪神淡路大震災では、被災した小林の生徒を三光町で一時的受け入れてもらったことがあり、今も昔も、助け合える姉妹校のあることを心強く思う。

小林に移転したのちも、少人数の私塾のような雰囲気だった学院だが、戦時中は多くの困難があった。特に連合国側の国籍を持つマザーの多くは、神戸のち長崎の収容所に送られた。生徒たちも川西航空機製作所で勤労動員を命ぜられたが、当時の川瀬渡子校長が、機材を持ち込み小林を学校工場として働けるよう尽力されたというお話を、今回、JASH役員を通してうかがった。川西航空機製作所は爆撃でほぼ壊滅状態で「川瀬先生のご判断がなければ、わたしたちは生きていませんでした」と、今年九四歳になる卒業生がお話しくださったという。

百年という時代の折々に、たくさんさんのマザー、先生方の、ときに勇敢な愛情と志に支えられ、今日があることをあらためて思う。

参考資料…「小林聖心女子学院50年史」(一九七三年発行)



昭和11年制服



住吉の校舎



戦時中、大阪上野芝射撃場での射撃訓練



小林に移転後の新校舎。聖堂(現・講堂)

2023年度 JASHの活動

■役員会

・ 定例役員会：毎月第2火曜日 全11回(8月以外)

■理事会

・ 理事会：隔月第3火曜日 全6回(5月・7月・9月・11月・1月・3月)

■情報の発信

・ Webサイト・Instagramの運営：随時
 ・ JASH紹介動画の貸出：随時
 ・ 「JASHだより」33号発行(4月1日)、34号発行準備
 ・ 卒業生インタビュー動画公開(JASH-AMASC委員会)：
 2023年11月シリーズ第1弾完結、2024年2月シリーズ第2弾開始

■姉妹校同窓会行事への参加

・ 総会：ドゥシェーン会(5月13日) 小林みこころ会(5月27日)
 宮代会(2024年2月24日) *茂仁香会・三光会・みこころ会は書面開催のため不参加
 ・ パザー：宮代祭(9月2日)(三光会チャリティーパザーは中止のため不参加)
 ・ 追悼ミサ：みこころ会(11月18日) 宮代会(11月21日)
 ・ 東京支部同窓会：小林みこころ会東京支部(10月1日)

■学校行事・評議委員会への出席

・ 記念行事：聖心女子大学創立75周年記念式典(11月4日)
 小林聖心女子学院創立100周年記念式典(11月17日)
 ・ 卒業式：聖心インターナショナルスクール卒業式(5月26日)
 聖心女子大学卒業式(2024年3月16日)

■第38回「JASHの日」Webサイト開催

・ 「JASHの日」について関連記事掲載(2024年3月随時)
 ・ 姉妹校同窓会動画配信(2024年3月16日～年末まで予定)

■その他

・ 新規グッズ「JASHボトル」の制作：9月～販売開始
 ・ JASHグッズ販売：オンライン販売(随時)、パザー等参加時
 ・ 古切手：処理随時、スペインへ送付(2024年2月14日)

古切手を
集めています!

AMASCは各国の同窓生から古切手を集め、スペインの同窓会が古切手市場で換金して、AMASCの活動に役立てています(AMASC Webサイトのニュース欄も参照下さい)。使用済切手の周囲を5ミリほどを残し、JASH事務室までお送りください。未使用の切手も歓迎です。

Activities

海外における「日本聖心同窓会(JASH)会員の集い」

世界各地に日本の聖心同窓生が暮らし、地域ごとにグループを作って親睦を深め、助け合っています。その中でも、右記の地域には「JASH会員の集い」があり、JASHは代表者の連絡先を管理しています。また、宮代会海外支部(シンガポール、ワシントン、南カリフォルニア)でもJASH会員と一緒に活動しています。

海外生活を始める方は、渡航前に、ぜひJASHにお問い合わせください。

■海外「JASH 会員の集い」の所在地

	ニューヨーク
アメリカ合衆国	サンフランシスコ/ベイエリア シカゴ アリゾナ
英国	
フランス	パリ
ドイツ	
オーストラリア	シドニー
タイ	バンコク



シカゴ(左)、アリゾナ(右)の集い

※上記以外の地域で活動されている同窓生のグループがありましたら、JASHにご登録ください。

「JASHだより」やJASH Webサイトで、グループの存在をJASH会員に広くお知らせし、新しく渡航される同窓生との橋渡しをします。

※各地の活動報告は、JASH Webサイトに掲載しています。

Activities

委員会活動

■ JASH-AMASC委員会

若い卒業生の方に同窓会活動を通じ「聖心スピリット」を繋いでいくことをミッションに掲げております。卒業生インタビューの動画配信を開始し、第2回目のゲストに里親ホームを運営していらっしゃる吉成麻子さん(み70・宮39)をお訪ねしました。



動画はJASH Webサイトから閲覧できます

■ 資料委員会

資料委員会は、卒業生の方々から寄贈された貴重な資料の記録カードを制作して保管、同時にデータ化も進めています。また本年6月の「JASHのつどい」で展示を行います。

年表「日本国内聖心女子学院の歩み」(冊子)の頒布も行ってしておりますので、ご希望の方はJASHまでお知らせください。



年表はJASHオンラインショップで購入できます

■ ホスピタリティ委員会

聖心会IVP*でメキシコより来日中の方への日本文化体験の依頼があり、ボランティアによる鎌倉案内のアレンジを行いました。

今回の経験をもとに、来日者対応について手続き方法や記入用紙を見直し、改定しました。

*国際ボランティアプログラム



ボランティア登録を通してご協力をお願いしています

聖心会 みこころセンター



共に学び、祈り
分かち合う場

〒108-0072 東京都港区白金4-11-1
 TEL・FAX：03-6277-2561
 メール：rscjmikokoro.center@gmail.com
 HP：https://www.m-sacred-heart.com/

学校法人聖心女子学院 生涯学習センター

「いつでも、どこでも、誰でも学べる」それが生涯学習です。

2021年1月からオンライン講座を始めました。

sgc-hq@sacred-heart.jp

from
資料委員会

お宝写真館

聖心女子大学制服

創立75周年を迎えた聖心女子大学では、1948年の開学から10年間ほど、制服は米軍女性将校の軍服の払い下げ品でした。物資不足の時代、服を買う余裕のない学生のため、Mer.ブリットは制服の導入を決定、進駐軍に掛け合せて調達しました。学生は入学前に、山積みの中古品からサイズの合うものを選び、日々着用しました。



開学当時の制服。

資料委員会では寄贈していただける資料を募集しています。

資料委員会では寄贈していただける資料を募集しています。

[シリーズ] 同窓会活動の場を訪ねて⑥

宮代会館

大学の南門の階段を上ったところにある白い建物、それが私たちの活動の場となっている「宮代会館」です。同窓会館建設は会員の長年の念願でしたが、大学との話し合いの末ついに実現の運びとなり、4階建ての建物が完成したのは1977年9月のことでした。事務室、大小さまざまな大きさの集会室、和室などを備え、お部屋の貸し出しも行っています。最近では、玄関のオートロックシステムやWi-fi環境など、時代の変化に合わせた整備も進んでいます。理事会、各セクション理事や福祉グループの活動、OG会活動、お稽古といった様々な宮代会の活動が、ここで日々活発に行われています。



理事会風景



宮代会館外観



和室 留学生交流会での着物体験

■JASH ボランティア募集

「JASHのつどい」などのイベントの手伝い、翻訳、海外からの会員の案内、通訳(英語・仏語・西語ほか)など、JASHの活動のお手伝いをしてくださるボランティアを、常時募集しています。

申し込みは、JASH Web サイト
「JASHボランティア募集」よりどうぞ。

聖心ファミリー 姉妹校の輪

富士山の裾野、「聖心の森」と茶畑に囲まれた21万坪の静かなキャンパス。変わらぬ美しい景色が広がります。
※枕流庵(お茶室)が新しくなりました。

学校法人聖心女子学院
不二聖心女子学院
中学校・高等学校
Fuji Sacred Heart School
Middle School & High School

International School
of the Sacred Heart
Growing with Courage and Confidence

info@iss.ac.jp www.iss.ac.jp

宮の森の丘から、本校最後の卒業生が
羽ばたいていく年度となりました。お祈りください。

札幌聖心女子学院 中学校・高等学校
〒064-8540 札幌市中央区宮の森2条16丁目10-1
TEL: 011-611-9231 FAX: 011-612-0980
URL: https://spr-sacred-heart.ed.jp
FB: https://www.facebook/SapporoSeishin/

小林聖心女子学院 小学校・中学校・高等学校

Come and See Dayでお会いしましょう

◆5月3日(金) 学院祭Come and See Day 開催
◆卒業生向けの最新情報を、
小林聖心公式Instagramで公開中!

聖心女子大学

再び、学びの世界へ
詳細は公式 WEB サイトをご覧ください。

多様に、グローバルに、より良く生き抜く。

セカンドステージから
30名4学級となります。
新しいクラスの名前は
「ふじ組」です。

聖心女子学院 SACRED HEART SCHOOL
初等科・中等科・高等科
2025年度入学試験: 初等科1年 / 初等科5年転入・編入 / 中等科1年帰国生

Japan Alumnae Association of the Sacred Heart

JASH だより

2024 No.34

jash316 検索

JASH Web サイト

JASHに関する情報をいち早く
掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

https://www.jash316.com/
▼ AMASC Web サイトはこちら
https://www.amasc-sacrecoeur.net

発行日 2024年4月1日
発行所 日本聖心同窓会(JASH)
発行人 ラウリア佳子
編集 JASH役員
住所 東京都渋谷区広尾4-3-1
聖心女子大学 JASH事務局
F A X 03-3407-0671
制作 (株)梁プランニング

学校法人聖心女子学院教育ネットワーク
Sacred Heart Six Sister Schools

日本国内の聖心姉妹校の
フェイスブックページをご存知ですか?
ぜひご覧ください。

https://www.facebook.com/SeishinNetwork

学校行事など日頃の学校の様子やトピックスを中心に
姉妹校6校の様々な情報を発信しています。